

★因果関係

●因果関係とは、
原因&結果の関係

●因果関係のコツ
三段論法を応用してみよう！

- ①AはBである。②BはCである。
③よって、AはCである。

(例)

- ①TACは予備校である。②予備校は勉強する場所である。
③よって、TACは勉強する場所である。

★本試験だとこんな感じ

【問題要求】

TACがなぜ勉強をする場所なのか、その理由を答えよ。

【問題本文】

TACでは中小企業診断士を始め、行政書士や税理士など、さまざまな国家資格に合格するための知識やノウハウを教えている。

【三段論法の応用 ※三段論法そのものではないです】

- ①国家資格に合格するための知識やノウハウを教える場所を一般的に予備校と呼ぶ。
②予備校は勉強をする場所である。
③よって、TACは勉強をする場所である。

【解答】

TACは中小企業診断士などのさまざまな国家資格に合格するための知識やノウハウを教える予備校であるため。

※「TAC＝予備校」ということを類推している。

平成 24 年度事例 I

第 3 問 (配点 20 点)

日本国内で重要保安部品を自動車部品メーカーに供給している A 社では、表面加工処理の自動化システムなどを開発し、品質の確保を図ってきた。しかし、東南アジアの中でも労働者がまじめで勤勉だといわれる S 国の工場に、品質保証のためのシステムを導入したにもかかわらず、X 社向け表面加工処理が主である S 国の工場を日本の工場の品質保証レベルにまで引き上げるにはかなりの時間がかかった。

それには、どのような理由が考えられるか。120 字以内で答えよ。

【問題本文抜粋／第 6 段落】

多くの部品メーカーが重要保安部品を内製化している中で、A 社が取引先から高い評価・信頼を得ているのは、徹底した品質保証体制を確立したからである。人命にかかわる重要保安部品には、いかなる不良も不具合もあってはならず、常に製品に完璧さが求められるのはいうまでもない。A 社は、長年にわたって蓄積してきたデータを活用して、気温や湿度、一回の処理工程で加工する製品の数などの条件が変化しても、ある程度まで同品質の皮膜生成を可能とする自動化システムを開発した。それを活用して高精度の加工処理と短納期化を実現した。

【解説】

- ・問題要求…S 国の工場を日本の工場の品質保証レベルにまで引き上げるにはかなりの時間がかかった理由

○1 つ目の根拠

- ①日本の工場の品質保証レベルは、いかなる不良も不具合もあってはならず、常に製品に完璧さが求められる。
- ②いかなる不良も不具合もあってはならず、常に製品に完璧さが求められるということは、????である。
- ③????であるから、S 国の工場を日本の工場の品質保証レベルにまで引き上げるにはかなりの時間がかかった。

○2 つ目の根拠

- ①品質保証のためのシステムは、長年にわたって蓄積してきたデータを活用して、気温や湿度、一回の処理工程で加工する製品の数などの条件が変化しても、ある程度まで同品質の皮膜生成を可能とする自動化システムである。
- ②条件が変化しても、ある程度まで同品質の皮膜生成を可能とする自動化システムということは、????である。
- ③????であるから、S 国の工場を日本の工場の品質保証レベルにまで引き上げるにはかなりの時間がかかった。

○????を類推すれば OK !

一言で言うと、「組織風土や文化、考え方、技術習得などのギャップ埋める必要がある」ということ。

い	か	な	る	不	良	も	不	具	合	も	あ	っ	て	は	な	ら	ず	常	に
製	品	に	完	璧	が	求	め	ら	れ	る	と	い	う	本	社	の	意	向	や
考	え	方	と	い	っ	た	文	化	や	風	土	の	浸	透	や	、	気	温	や
湿	度	、	一	回	の	処	理	工	程	で	加	工	す	る	製	品	数	等	の
条	件	が	異	な	る	際	に	完	全	に	同	品	質	製	品	を	製	造	す
る	技	術	の	習	得	等	に	相	当	の	時	間	が	掛	か	っ	た	た	め

※第 6 段落の後半部分を使用しても同様の同じような内容になります。

【一般化】

因果関係の形式（類推するパターン）

○「問題本文＋類推⇒問題要求」

固定する順番は、

- ①問題要求
- ②問題本文
- ③（最後に）類推

※「直線」は2つの点を定めると、方向性が決まります。2つの点とは、問題要求と問題本文のこと。この2つが定まれば、類推部分が大きく外れることはありません。

※解答にあたっては問題本文の言葉を使用しつつ、類推する要素を書いておきましょう。多くの受験生はそのような解答を書いて合格しています。

今日のまとめ（5月号）

～因果関係～

その1 原因&結果の関係を意識する。

その2 三段論法を練習してみよう。

その3 「問題本文＋類推⇒問題要求」

固定する順番は、

- ①問題要求
- ②問題本文
- ③（最後に）類推